

一般財団法人地域活性化センター シニアフェロー

箕浦 龍一

一般社団法人 官民共創未来コンソーシアム 上席理事



<得意とする分野>

- 働き方改革(全般)
- マネジメント改革
- ワークプレイス(オフィス)改革
- デジタルトランスフォーメーション(DX)
- テレワーク
- ワーケーション
- 地方創生
- 関係人口創出
- 人材開発・人材育成

<自治体等との連携実績等>

- 総務省時代の短期インターン受入れに伴う継続的人材開発
(奈良県川上村 高知県仁淀川町 福島県西会津町 長野県佐久穂町)
 - ワーケーション自治体協議会結成に尽力(2019年11月)
 - 三重県庁「みえモデルワーケーション研究会幹事会」メンバー(2021年8月～)
 - 鎌倉市「新庁舎等整備基本設計等受注者選定委員」(2022年10月～2024年10月)
 - 東京都デジタルサービス局技術審査委員会特別委員(2022年～)
 - 千代田区ワークプレイス変革プロポーザル審査委員(2023年～)
 - 宮津市庁舎基本構想等検討委員会専門委員(2024年10月～2025年7月)
- ほか

<略歴>

平成3年4月国家公務員任官(総理府・総務庁採用)

沖縄開発庁、総理府広報室、福井県警察本部、総務庁人事局、総務省人事・恩給局、内閣官房行政改革推進本部事務局、総務大臣秘書官等を経て、2015年7月、総務省行政管理局企画調整課長、2018年7月行政評価局総務課長。

2021年7月、総務省大臣官房サイバーセキュリティ情報化審議官(内閣官房政府副CIO 兼務)を最後に退職。

総務省時代には、オフィス改革を中心とする働き方改革に取り組み、その実績により人事院総裁賞を受賞(両陛下に拝謁)。2017年の日本行政学会では、「機動力の高いナポレオン型管理職」として紹介される。

2018年には、中央省庁初となる中央省庁と基礎自治体との短期交換留学も実現するなど公務部門の若手人材育成にも取り組んで話題となった。

2020年11月、一般財団法人行政管理研究センターの協力を得て、「公務部門ワークスタイル研究会」を立ち上げ、その研究主幹に就任。

<その他特記事項>

○主任講師を務める地域活性化センター主催の定例セミナー

- ・キャリア開発塾(年3回)
- ・公務マネジメント養成塾(年1回)
- ・「地域のひとづくり」全国カンファレンス(年数回)

<関連 URL>

<https://profiee.com/i/rmino>

<連絡先>

ryuichi.minoura.wkst@gmail.com